

社会

2015年5月5日 19時42分

マレーグマあわや脱走 名古屋・東山動物園

5日午前10時25分ごろ、名古屋市千種区の東山動植物園本園のクマ舎で、マレーグマの雄「マーチン」（3歳）が、獣舎運動場の高さ5メートルの壁をよじ登り、獣舎外に出そうになる騒ぎがあった。

東山動植物園によると、マーチンは子どもで体長130センチ、体高80センチ、体重75キロ。来園者が壁を登っていくのを見つけ、東山動植物園側に連絡した。駆け付けた職員が、幅約30センチの壁の上にいるマーチンをデッキブラシで威嚇したところ、約15分後、自ら運動場内に下りた。

現場の壁は、マーチンの運動場と最近死んだツキノワグマの運動場を仕切る壁。奥行きが18・4メートルで、強度を保つために壁の途中に出っ張った部分が2カ所あり、その角の1つに抱きつき、爪を引っかけて5分ほどで壁の上によじ登った。

マーチンは、昨年11月3日にも同じ壁を登ろうとしたことがある。その際は壁の凹凸に爪を引っかけて高さ2・5メートルまで上がっていった。その後、東山動植物園では凹凸を削る工事を施したが、今回の騒ぎを受け、壁の角をなくす工事を新たに実施する。

この日はゴールデンウィークの人流で混雑し、クマ舎の観覧通路にも大勢の来園者がいた。橋川央（ひさし）動物園長は「あつてはならないこと。申し訳ない。安心して来園者に楽しんでもらえるように獣舎の修復をする」と話した。

クマ舎は1990年に完成。6つの獣舎があり、現在はマーチンを含めたマレーグマ3頭、メガネグマ2頭、エゾヒグマ1頭の計6頭を飼育している。

(中日新聞)



運動場の壁によじ登ったマレーグマの「マーチン」。この後、職員が威嚇し脱走を防いだ。5日、名古屋市千種区の東山動植物園（同園提供）